

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. D-27

部門名：校内研修プログラム開発・実践部門	エントリー名：富山県氷見市立宮田小学校 澤村 梢 平成 30 年度教職員等中央研修 (第 3 回中堅教員研修)
活動名：校内研修マネジメント キャリアに応じた授業力向上	
解決すべき課題： 本校は、今年度、担任 8 名のうち 6 名が 20・30 代の教員である。重点目標である「常に考える」子供の育成のためには、「分かる、できる、楽しい授業」の実現が不可欠であり、若手教員のキャリアステージに応じた授業力の向上が喫緊の課題である。 そこで、「学校組織マネジメント」の基本モデルを参照して「校内研修計画シート（以下 Next シート）」を作成し、「現状からビジョンへ、戦略を意識した校内研修の活性化」を目指す。「全体的・長期的な視点」をもつために、担任と話し合いながら具体的な校内研修の計画を立てる。併せて、校内研修会や若手教員研修会を企画、運営することにより、個々のキャリアステージに応じた学び合う教員集団をマネジメントする必要がある。	
目標・方針： 1. 担任のキャリアステージに応じて Next シートを活用し、実施と改善を繰り返し、ビジョンの達成を目指す。 2. 校内研修会では、授業の改善策を見出すことに重点を置き、各担任の指導力と授業力向上を目指す。 3. 若手研修会（mini 研）では、タイムリーに必要な感ある「教員の学び合いの場」を目指す。	
活動内容： 1. Next シートの時間軸をキャリアステージに応じて設定した。例えば、教員経験 2 年目の担任は国語科の 1 単元、3～5 年目の担任は研究授業やまとめの執筆を含めた 1 年間のビジョンを意識しながら、計画を立てるように助言した。また、授業後や 1 学期末に振り返り、改善を行った。 2. 校内研修会では、「Good、Bad & Next」の視点で、指導案の書式と授業後検討会を改善した。 3. 隔週金曜日、勤務時間内に若手研修会（mini 研）を企画、運営した。	
活動の成果： 各担任の声：Good（よい点）Bad（よくない点）&Next（次の方策）の視点を通して 1. Next シート Good：ゴールを見据えて、今何をしたらよいかを考えることができた。実践の途中でも、子供の変化、指導項目、実践したかったこと、ビジョン等を再確認し、授業の改善点を見付けることができた。 2. 校内研修会 ①A4 1～3 枚の指導案 Good：重点的に取り組みたい場面が明確になった。これまで指導案作成にかけていた時間を、教材研究や実態把握等に回すことができた。 Bad & Next：A4 1 枚の場合は、スペースが少ないため、内容をさらに絞る必要がある。若手教員は授業に対する教育観、指導観等を明確にすることも大切であるため、2～3 枚の指導案を書く機会を設定する。 ②授業後検討会 Good：授業の Good を客観的に指摘してもらうことで、取組に自信をもつことができた。授業者は Bad & Next の意見を総括し、冷静に授業を振り返り、次の目当てを明確にすることができた。 Bad & Next：授業参観時間を確保する工夫や、協議題に沿って話し合いを深める手立てを考える。 3. 若手研修会 Good：研修会で紹介した ep（Episode Process）を活用し、気になる子供について 30 分間ケース会議を 2 回開いた。ICT 活用の研究授業に向けて、全教員が子供役になって「micro:bit」を操作し、プログラミング教育についての研修を行った。研修の機会を有効に活用し「必要だ、すぐやってみよう」という意識が高まっている。 Bad & Next：学力向上や学級運営等のテーマを取り上げ、ベテラン・中堅教員が若手教員に経験を伝える「学び合いの場」を設定したい。	
アピールポイント（アイデアや工夫）： 1. 「校内研修計画シート（Next シート）」の活用 2. 校内研修会の見直しと改善 3. 若手研修会（mini 研）の企画、運営	

1 「校内研修計画シート（Next シート）」の活用

◆対象とした担任と校内研修の計画

経験年数	学年	教科	時間	質
2 年目	2 年	国語	1 単元	物語文「スイミー」の授業づくり
3 年目	1 年	音楽	1 年間	音楽のよさを味わい、主体的に豊かに表現する子供の育成
5 年目	6 年	理科	1 年間	ICT を活用した授業づくり

学校組織マネジメントの基本モデル

工夫・改善点

- ・キャリアステージに合わせ、ビジョンを設定し、個に応じて時間軸（いつまでに）を設定し、一緒に計画立案

1 年音楽科のシート

Next：10 月の研究授業、実践のまとめ執筆に向けて授業改善を

ゴールを見据えて、今すべきことがはっきりしました。（2 年目担任）

2 校内研修会の見直しと改善

H30 年度
 ・指導案は A4 2～4 枚
 ・付箋紙を活用したスタンディングでの授業後検討会

◆授業後検討会の流れ
 1. 授業者自評
 2. 質疑、応答
 3. 協議（意見交換）
 4. 指導助言

工夫・改善点

- ・Good、Bad & Next の視点を取り入れて
- ・授業者自評が反省にならないように
- ・若手も発言しやすいように

Bad だけではなく、Next も合わせて伝えよう。（中堅）

H31 年度

- ・付箋紙を活用し、Good は全員発表。若手が発言する機会を確保
- ・授業者自評は、検討会の最後で

◆授業後検討会の流れ
 1. Good
 2. Bad
 3. Next
 4. 指導助言
 5. 授業者自評（振り返り）

授業者への質問 応答込み

Next：授業参観の時間を確保し、より多くの Good を協議題に沿った深まりのある話し合いに

・Good をたくさん指摘してもらって、自信がついた。
 ・自評は次にどうしようかを話すことができた。（若手）

3 若手研修会（mini 研修）の企画、運営

H30 年度
 ・外国語活動についての内容が中心
 ・毎週金曜日、全 15 回実施
 ・提案者は輪番

工夫・改善点

- ・タイムリーな内容を、スピーディーに実施
- ・必要に応じて内容の予定変更あり
- ・提案者は輪番で、進行は中堅

H31 年度

◆実践内容
 ①教室の痼癩をおこす子供への対処
 ②ep（Episode Process）の紹介 → 3 年児童の 30 分間ケース会議 → 2 年児童の 30 分間ケース会議
 ③ICT を活用した授業づくり研修会 研究授業（プログラミング教育）に向けて、micro:bit の紹介と操作

Next
 ベテラン・中堅教員が若手教員に経験を伝える「学び合いの場」を設定